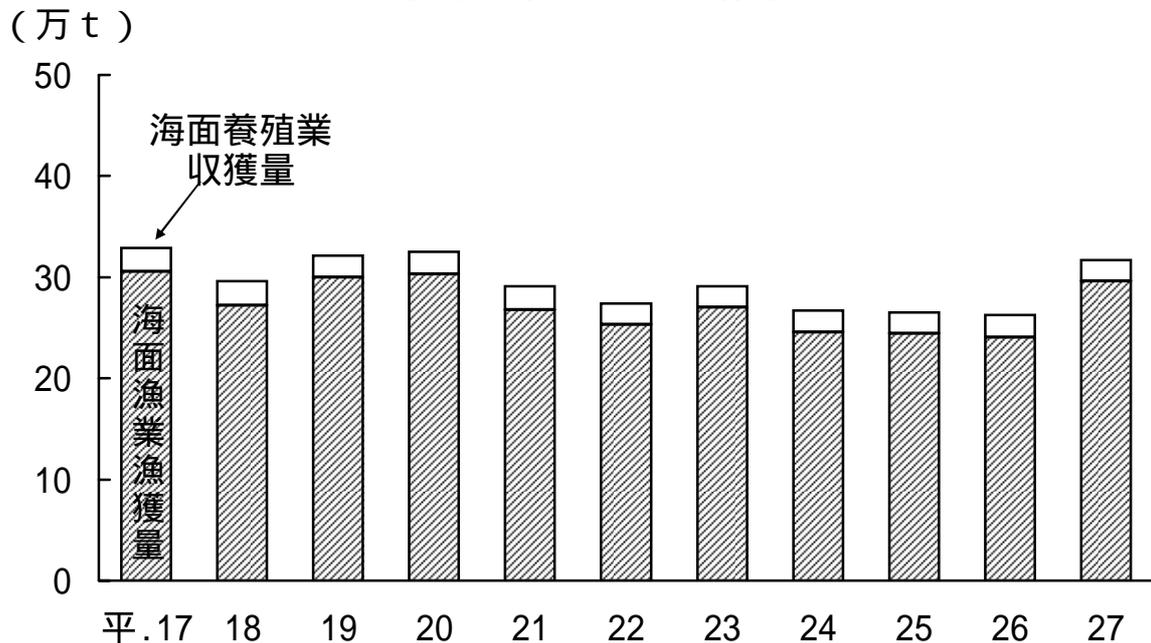


## 水産業の概況

## 海面漁業生産量の推移



## &lt;平成26年の概況&gt;

平成26年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は26万2,472tで、25年に比べ2,887t(1.1%)減少しました。

海面漁業の漁獲量は24万390tで、25年に比べ3,660t(1.5%)減少しました。これは、まぐろ類、さば類、いか類等で増加したものの、ぶり類、かつお類、うるめいわし、まあじ等が減少したためです。

また、海面養殖業の収穫量は2万2,083tで、25年に比べ773t(3.6%)増加しました。これは、ぶり類等が減少したものの、くろまぐろ、ふぐ類、かき類養殖等が増加したためです。

## &lt;平成27年の概況&gt;

平成27年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は31万7,176tで、26年に比べ5万4,704t(20.8%)増加しました。

海面漁業の漁獲量は29万5,998tで、26年に比べ5万5,608t(23.1%)増加しました。これは、まぐろ類、むろあじ類、さわら類等で減少したものの、まいわし、うるめいわし、かたくちいわし、まあじ、ぶり類、いか類等が増加したためです。

また、海面養殖業の収穫量は2万1,178tで、26年に比べ905t(4.1%)減少しました。これは、まだい、貝類等が増加したものの、くろまぐろ、ふぐ類養殖等が減少したためです。

(九州農政局統計部)